

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	「家族からの意見の引き出し方を検討し、サービスの向上に活かしていくことを期待したい。」との指摘あり。	1. 当施設運営に対する「利用者家族等アンケート」の調査を毎年実施する。アンケート内容について一部は年毎に変える。 2. 利用者様の様子を家族へ伝えることや希望を聴くことを今まで以上に積極的に行う。	1. 前回実施のアンケートを叩き台として取捨選択も考えながら新しい項目を加えたアンケートを全スタッフで考える。 2. 左記のことを全スタッフで共有して実施する。	10ヶ月
2	26 (10)	「介護計画が日々の記録に反映されることに期待したい。」との指摘あり。	ケアプランの各種内容(食事についてなどを10種に分類し、それぞれ番号(1から10)を付け、介護記録用紙に記録する時に、その番号を付けて行うことにより、ケアプランが介護記録に反映されるようにする。	1. ケアプランの内容を10種に分類しケアプランにその番号を付けて記録する。 2. 介護記録の記入に上記の番号を記載する。	10ヶ月
3	4 (3)	「運営推進会議のメンバーが参加しやすい工夫と開催を2ヶ月毎(年6回)に取り組めるよう期待したい。」との指摘あり。	1. 運営推進会議を2ヶ月に1回とするよう再度提案してみる。2. 家族からの質問や話題として欲しいことを挙げてもらうよう働きかける。(会議のメンバーを2つの地区に分け各区は4カ月毎の会議としたいことを提案したが決定とはならず再度検討することとなった経過あり)(令和1年12月提案時)	前回から3ヶ月後の令和2年3月開催を予定していたが、新型コロナウイルス予防のため4月開催に変更。この時に左記のように提案を行って実現にしたい。(会議に参加してくれる区長さん方の考えを無視することは得策ではないため一方的にやることはできない)	10ヶ月
4		利用者によっては対応が難しく、その介護には大きなストレスがかかる。そのため、この仕事は感情労働と言われることがあり、この仕事を選び継続することに負の状件になり得る。この仕事を上手にこなし(熟し)「この仕事は楽しくやりがいがある」という人もいる。このようなことを目指したい。	いかにしたら、この仕事に上手く対応し、少しでも負担感を減らし、やりがいを持てるようになるのかを全職員で追及する。(「認知症は、接し方で100%変わる」という本もあり、それも研修資料としたい。)	1. 各スタッフがこの課題を念頭に置き、色々な具体場面で方法を出し合い検討していく。 2. 職員研修の時に、困難課題を出し合いより良い対応の方法を追求する。 3. 文献等で参考となるものをだしあって研修する。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。